

令和7年度 浜松河川国道事務所 事業概要

国土交通省 中部地方整備局
浜松河川国道事務所
令和7年4月

目 次

■ 浜松河川国道事務所の事業概要

○令和7年度事業実施箇所	 1
--------------	---------

■ 治水関連事業

○治水関連事業の概要	 2
○予算（治水）	 3
○事業実施箇所（治水）	 4
菊川高潮堤防整備	 5
菊川河道掘削	 6
下小笠川水位低下対策事業	 7
菊川本所地区無堤部対策事業	 8
天竜川野部地区侵食対策事業	 9
天竜川河道掘削	 10
菊川・天竜川水系の維持修繕	 11
堰堤維持（新豊根ダム）	 12
○流域治水の推進	
流域のあらゆる関係者が協働して対策を実施	 13
遠州流域治水協議会	 14
菊川水系黒沢川を特定都市河川に指定	 15
地域と連携したとりくみ	 16

■ 道路関連事業

○事業実施箇所（道路）	 17
○道路関連事業の概要	 18
○予算（道路）	 19
○人流・物流を支えるネットワークの整備	
三遠南信自動車道	
（水窪佐久間道路、佐久間道路・三遠道路）	 20
国道1号の概要	 24
国道1号島田金谷バイパス	 25
国道1号浜松バイパス（長鶴～中田島）	 27
○国土幹線道路ネットワーク整備に向けた道路調査	 29
○交通の安全・安心の確保	
国道1号、474号の道路管理	 30
交通安全対策	 31
道の駅	 32
生活道路の交通安全対策の支援	 33
■ 災害対応	
○TEC-FORCE活動、自治体支援	 34
○令和7年 能登半島豪雨による 被災地へのTEC-FORCE活動	 36

令和7年度 浜松河川国道事務所の事業実施箇所



治水関連事業の概要



河川改修

- 流下断面確保を目的として、河道掘削を実施
- 堤防強化のため、高潮堤防整備や低水護岸整備を実施

■ 令和7年度実施内容

<菊川水系>

- ・菊川本川高潮区間の高潮堤防整備を実施
- ・下小笠川水位低下対策事業の継続実施
- ・菊川本川中下流部の河道掘削を実施

<天竜川下流>

- ・野部地区侵食対策（低水護岸整備）を実施
- ・河道掘削を実施



河川維持修繕

- 堤防の状態を把握するための堤防除草を実施
- 巡視や点検により河川管理施設の異常や損傷を把握し、計画的に維持修繕を実施

■ 令和7年度実施内容

- ・河川巡視を実施
- ・堤防除草を実施
- ・河川管理施設点検を実施
- ・維持修繕を実施



河川工作物関連応急対策

- 既設の樋門や排水機場等河川工作物の質的改善や機能向上を目的に計画的に修繕を実施

■ 令和7年度実施内容

<菊川水系>

- ・江川排水機場ポンプ設備修繕
- ・江川排水機場除塵機修繕



堰堤維持

- 新豊根ダム下流の洪水防御をするため、日ごろからの各種施設点検及び流木処理などの維持管理
- 洪水予測精度の向上を図る

■ 令和7年度実施内容

- ・維持管理を実施
- ・巡視を実施

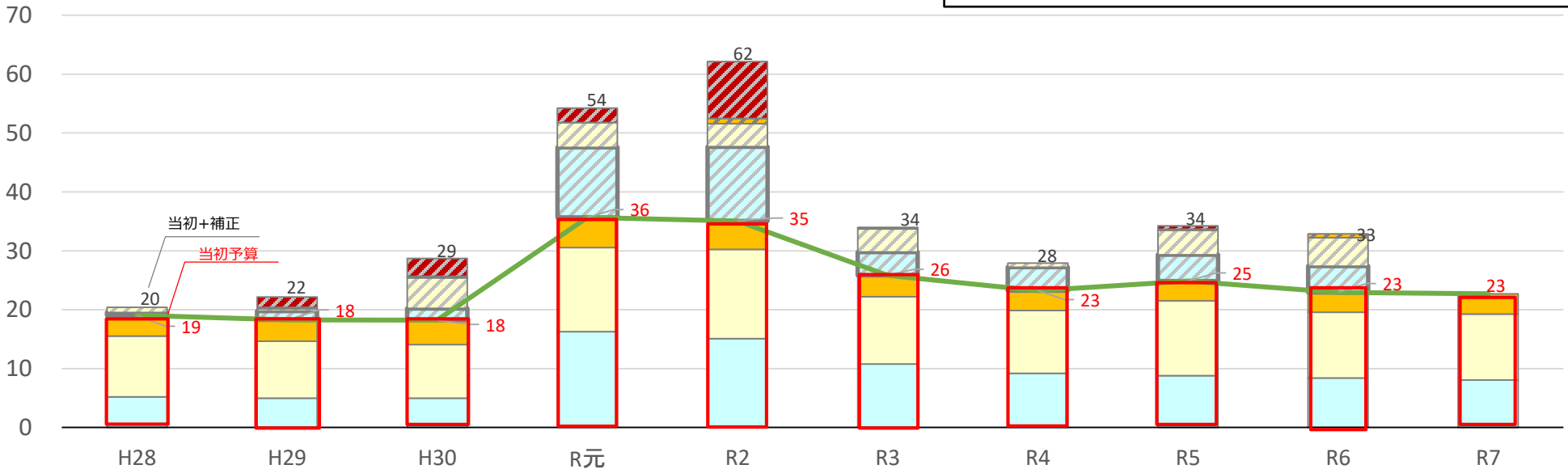
浜松河川国道事務所の予算(治水)

令和7年度治水関連予算

事業内容	R 6	R6当初		R7当初	伸率 (R6当初/R5当初)
	当初+補正		R6補正		
河川改修	1,288	841	447	805	0.96
菊川	711	501	210	480	0.96
天竜川下流	577	340	237	325	0.96
河川維持修繕	1,383	981	402	1,000	1.02
菊川	772	531	241	541	1.02
天竜川下流	612	451	161	460	1.02
河川工作物関連応急対策	214	134	80	120	0.90
菊川	214	134	80	120	0.90
堰堤維持(新豊根ダム)	402	338	64	344	1.02
災害復旧関連	—	—	—	—	—
事務所の治水関連予算	3,287	2,294	993	2,270	0.99

治水関連予算の推移

(億 円)



令和7年度 事業実施箇所(治水)

天竜川水系

静岡県・長野県境まで

位置図



<新豊根ダム>
維持管理、巡視

河川巡視、堤防除草・維持修繕
施設点検・維持修繕

野部地区
侵食対策事業

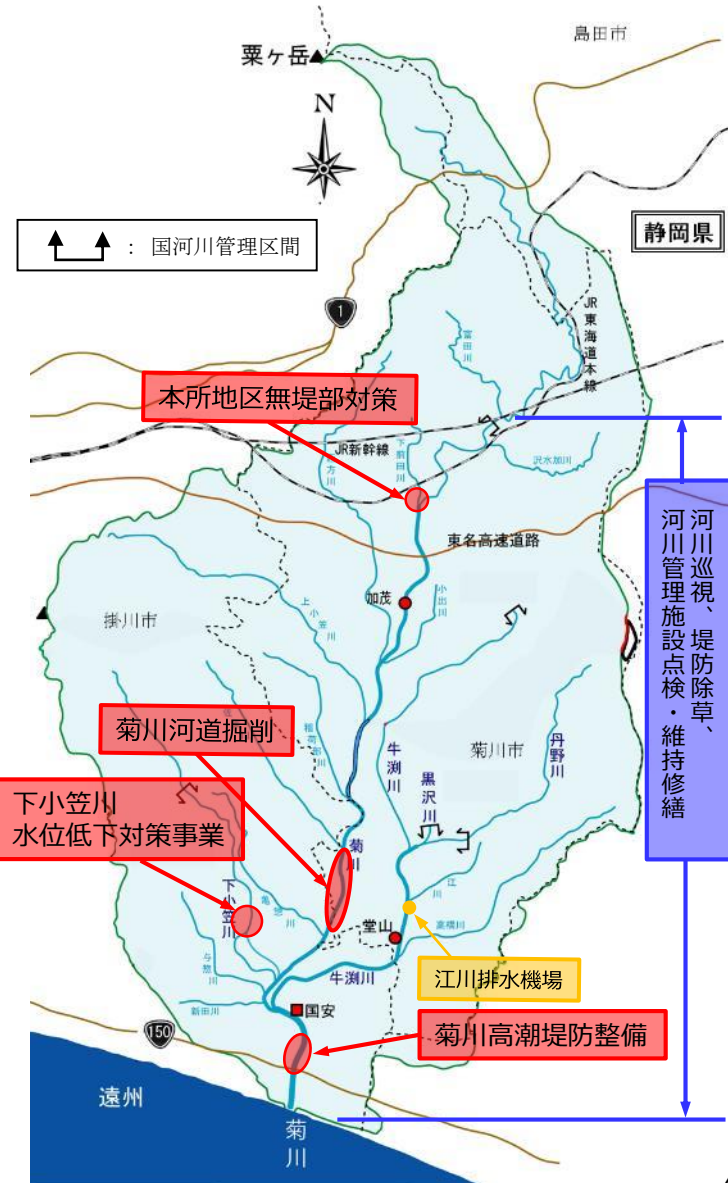
天竜川河道掘削

管理区間 (延長)		
菊川水系	菊川	17.6km
	牛淵川	12.3km
	丹野川	1.6km
	黒沢川	0.5km
	下小笠川	4.4km
天竜川水系	天竜川	95.0km
	新豊根ダム	11.3km

凡 例

●	河川改修
●	河川維持修繕
●	河川工作物関連応急対策事業
●	堰堤維持

菊川水系



本所地区無堤部対策

菊川河道掘削

下小笠川
水位低下対策事業

菊川高潮堤防整備

河川巡視、堤防除草、
施設点検・維持修繕

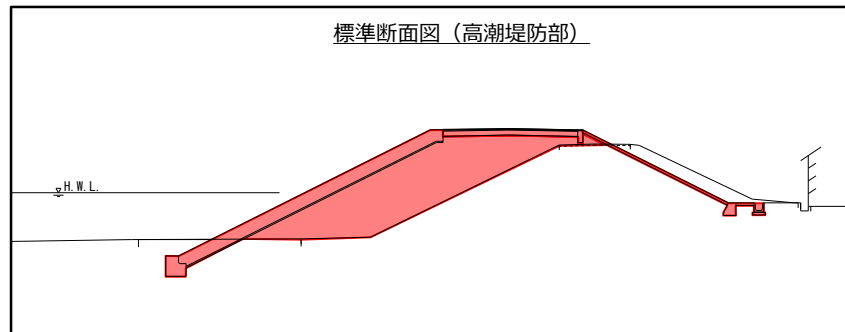
河川改修 <菊川高潮堤防整備>

- 伊勢湾台風と同規模の台風が満潮時に再来しても被害が生じないように、堤防高が不足している箇所の高潮堤防整備を実施
- 令和7年度は、引き続き、菊浜地区にて高潮堤防整備及び樋管の改築を実施し、高潮区間一連の完成を目指す

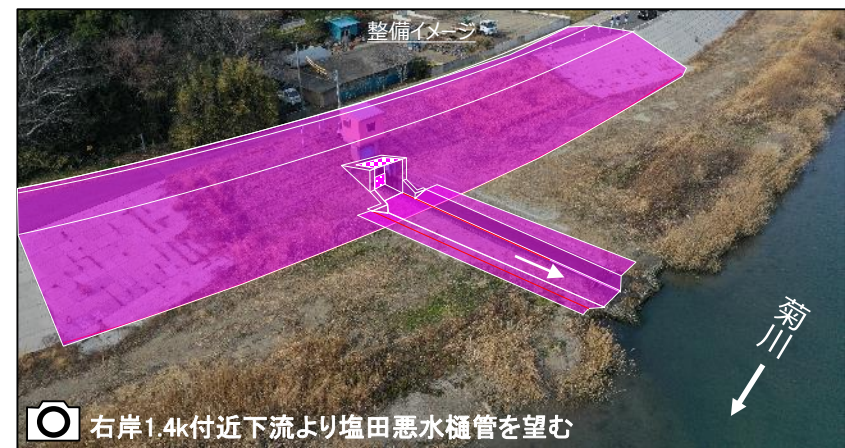
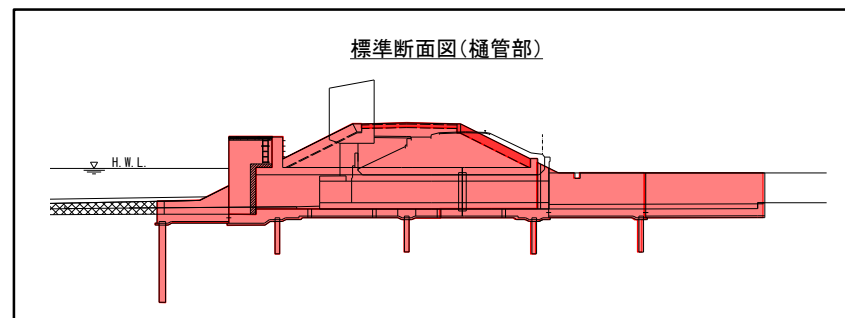


位置図

標準断面図(高潮堤防部)



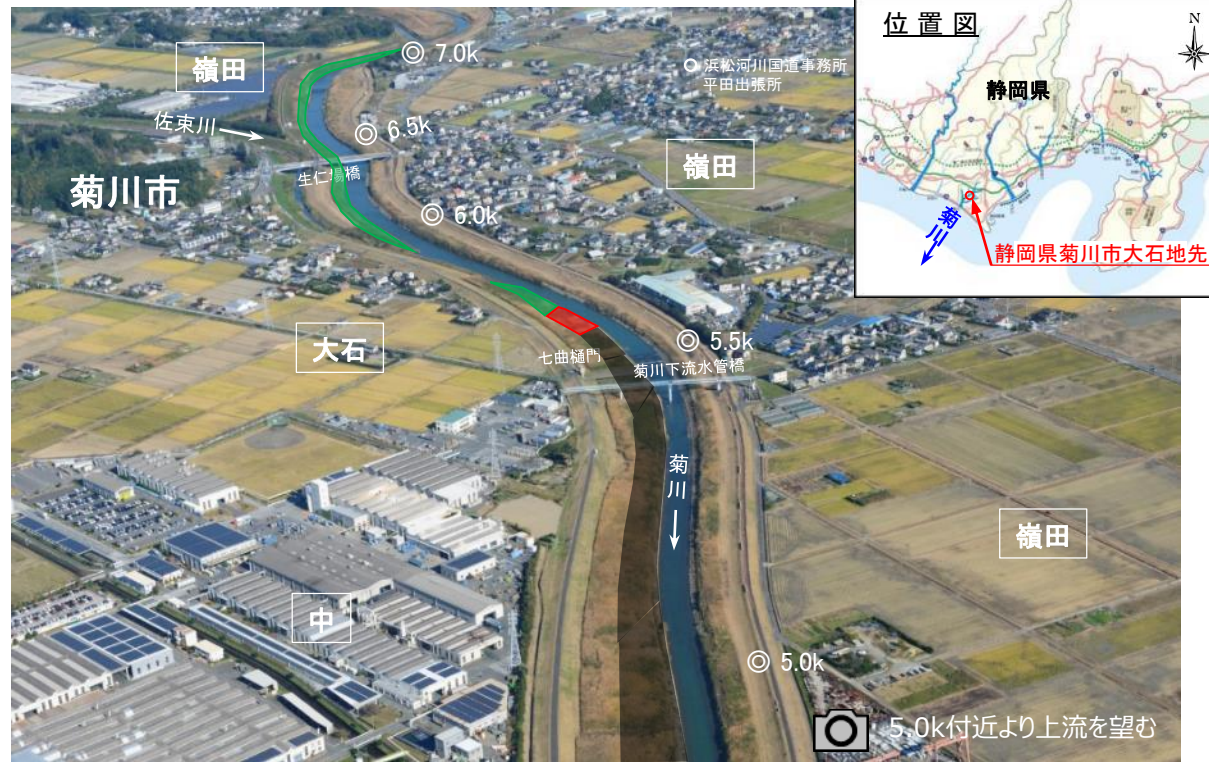
標準断面図(樋管部)



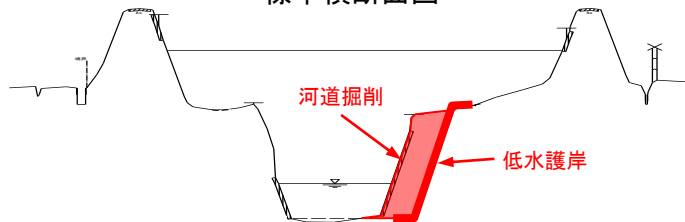
右岸1.4k付近下流より塩田悪水樋管を望む

河川改修 <菊川河道掘削>

- 菊川整備計画目標流量を安全に流下させるために必要な河道断面確保のため、河道掘削を実施
- 令和7年度は、引き続き、大石地区・嶺田地区の河道掘削を実施



標準横断面図



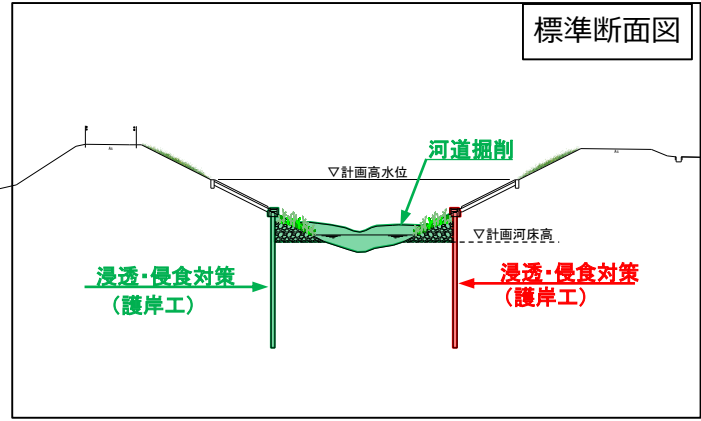
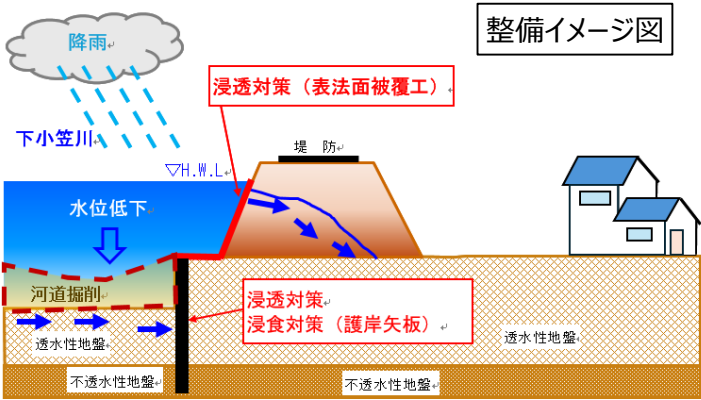
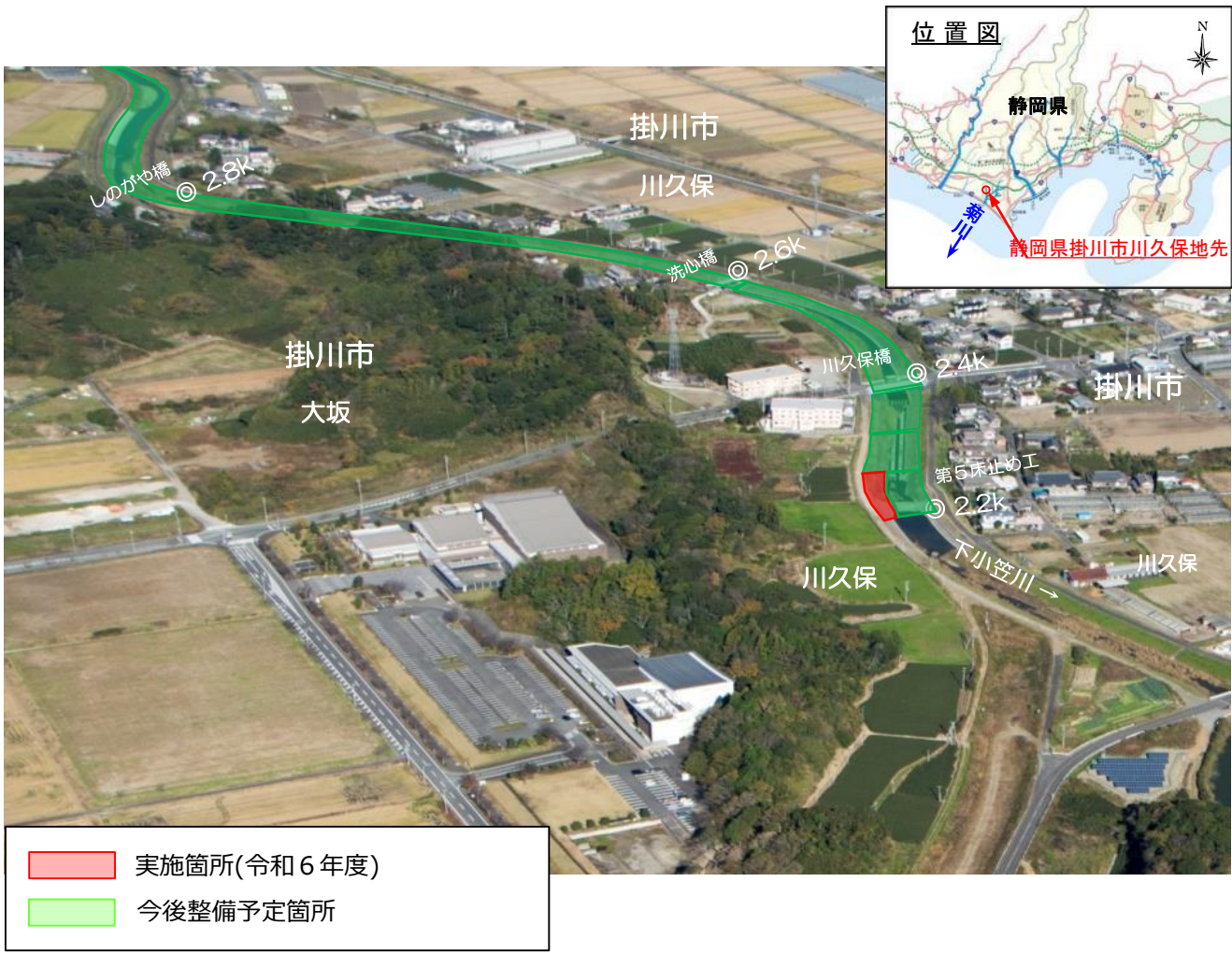
- 実施済み
- 実施箇所(令和6年度)
- 今後整備予定箇所

■ 河道掘削の様子（大石工区）



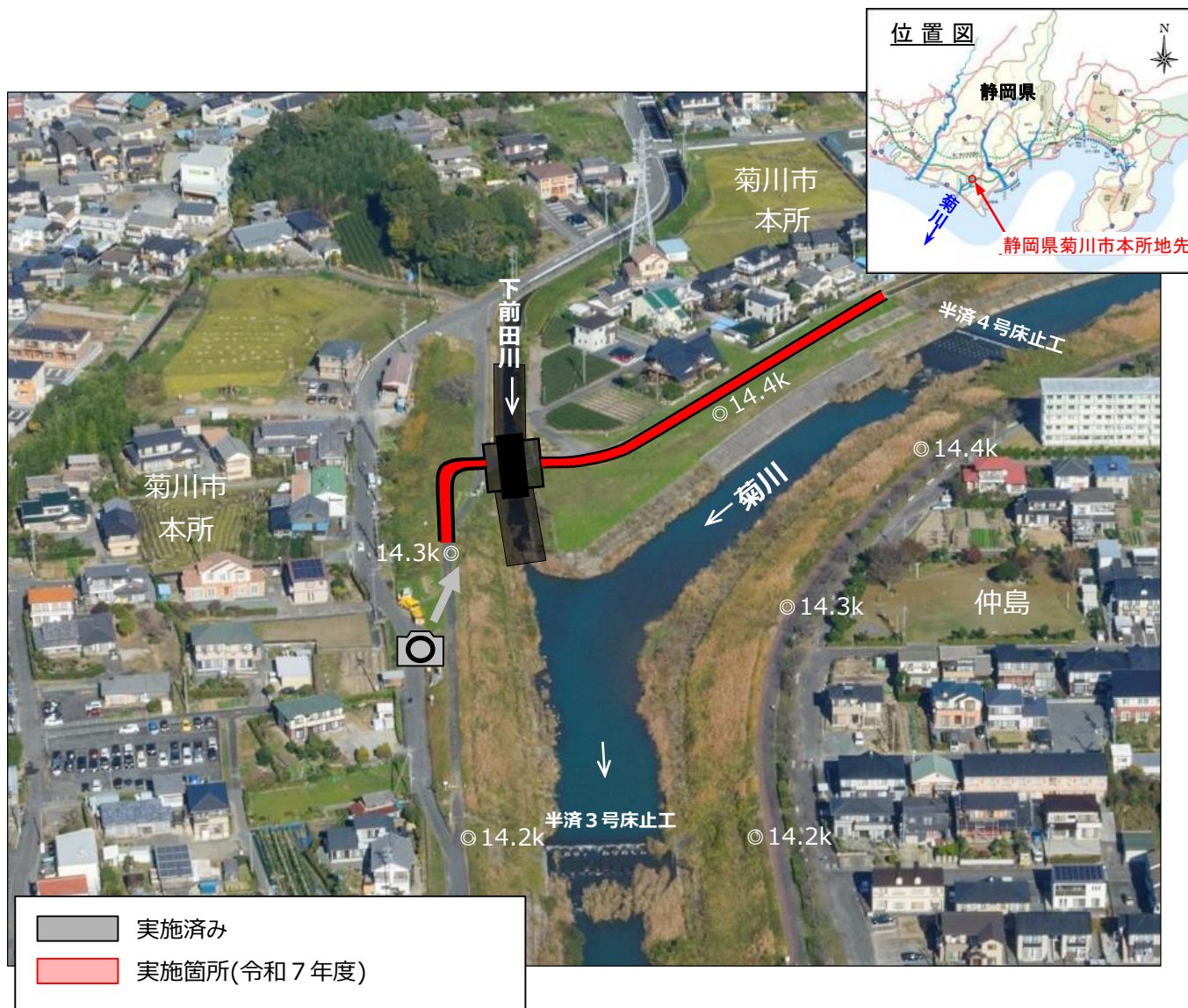
河川改修 <下小笠川水位低下対策事業>

- 下小笠川2.2k～4.4k区間において、現況堤防を改修せず、河道掘削で流下断面を確保し、掘削に伴い必要となる低水護岸、床止め工の改築等を実施する事業である
- 流下能力の向上と内水被害の軽減にむけ、令和6年度より整備着手し、引き続き整備をする



河川改修 <菊川本所地区無堤部対策>

- 下前田川合流部（菊川右岸14.3kp付近）本所地区無堤部において、菊川氾濫による浸水彼岸防止のため築堤護岸を実施
- 令和2年度より水門整備着手。令和7年度は築堤護岸等実施し、一連区間の完成を目指す

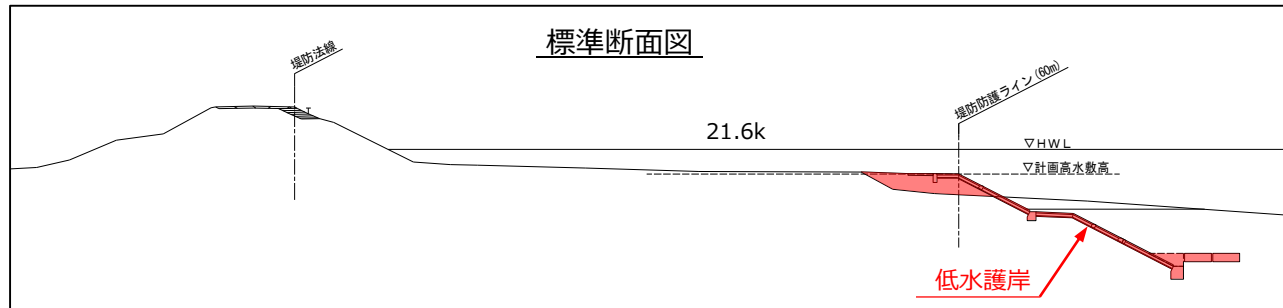


■築堤護岸整備（本所地区）

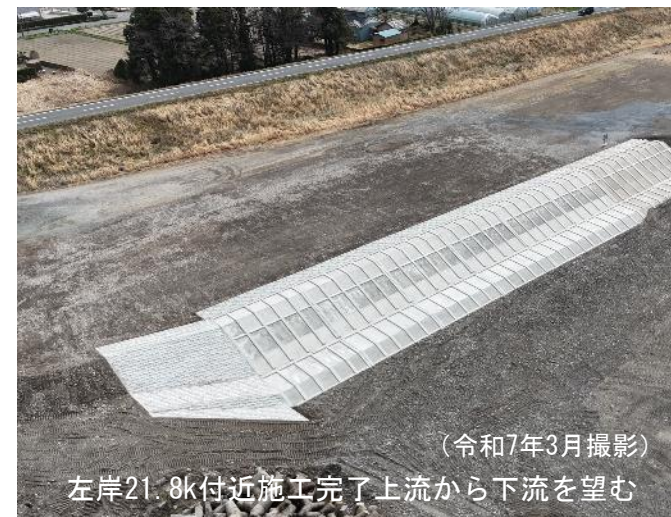


河川改修 <天竜川野部地区侵食対策事業>

- 資産が集中する磐田市下流部に甚大な被害が発生しないよう、侵食対策として、上野部地区に低水護岸を整備し、出水による河床洗掘や河岸侵食を防止し、安全な洪水の流下を図る
- 令和7年度は、引き続き、上野部地区（22.0k付近）の低水護岸整備を実施

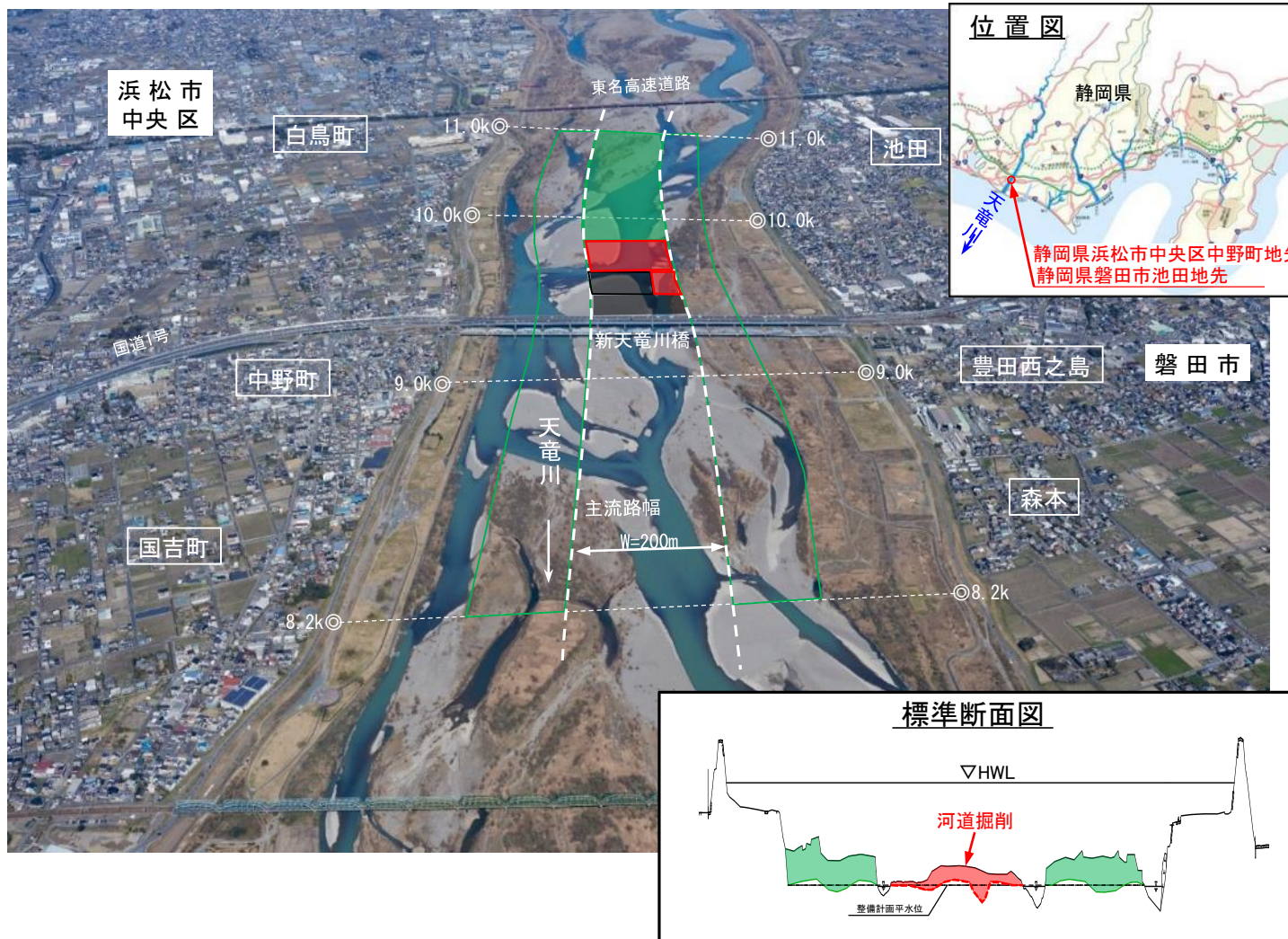


■低水護岸整備（上野部地区）



河川改修 <天竜川河道掘削>

- 天竜川整備計画目標流量14,400m³/sを安全に流下させるために必要な河道断面確保のため、河道掘削を実施
- 掘削した土砂は養浜材（県事業）として利用することにより、海岸侵食に寄与。また、磐田市における防潮堤事業にも利用予定
- 令和7年度は、中野町・池田地区（9.8k付近）の河道掘削を実施



■河道掘削の様子（池田地区）



- 実施済み
- 実施箇所(令和7年度)
- 今後整備予定箇所

河川維持修繕 <菊川・天竜川水系の維持修繕>

- 水災害の防止・軽減を図るため、堤防除草、巡視・点検による河川管理施設等の状態把握、点検結果による維持修繕を実施。
- 令和7年度の主な事業内容として、
 - ・堤防除草及び河川管理施設の点検、維持修繕工事を実施。
 - ・機能を向上させつつ、老朽化した施設の修繕を実施。

■ 施設点検



■ 江川排水機場 ポンプ更新



■ 堤防除草



■ 江川排水機場 除塵機更新



堰堤維持 <新豊根ダム>

- 新豊根ダム下流の洪水防御をするため、日ごろからの各種施設点検及び流木処理などの維持管理を行うとともに洪水予測精度の向上を図る
- ダム下流の氾濫軽減のための防災操作を確実に行う取組みを実施

放流の様子



ダム湖の様子



流木処理



堤体計測



ゲート操作（防災操作）



ダム一般公開



ダム大学



<https://www.facebook.com/shintoyone>

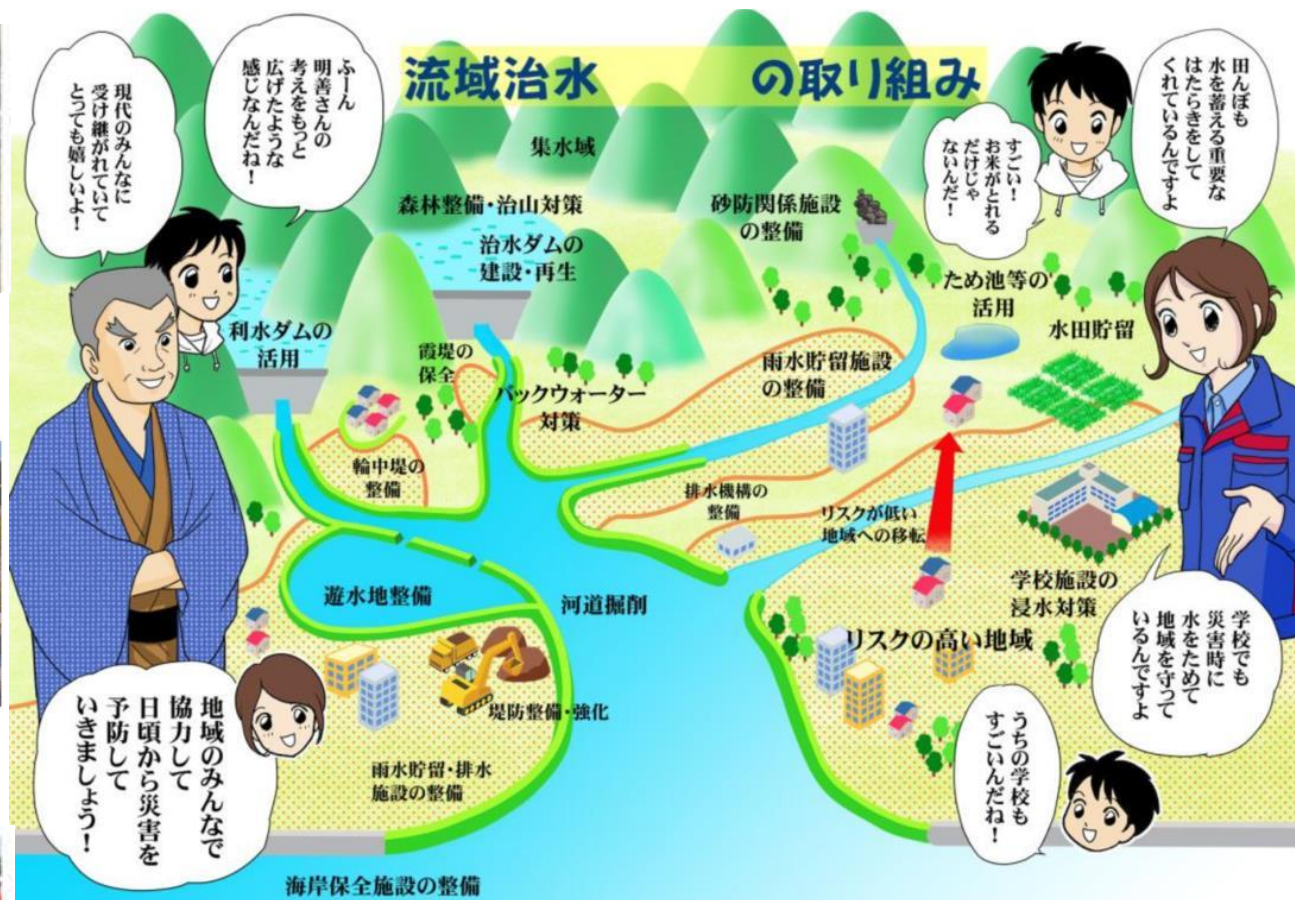


facebookpage

新豊根ダム

流域治水の推進 <流域のあらゆる関係者が協働して対策を実施>

○ 気候変動による災害の激甚化・頻発化を踏まえ、あらゆる関係者が協働して流域全体で行う水災害対策「流域治水」を推進



校庭貯留の推進（菊川市等）



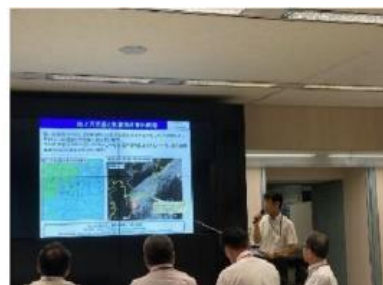
浸水センサの設置（浜松市等）



水防訓練の実施（掛川市等）



防災アプリの整備（静岡県）



防災対応支援チームの派遣（気象庁）



ポンプ場の整備（磐田市等）



森林整備（林野庁等）



河道掘削（国交省等）



水田貯留（菊川市等）

流域治水の推進 <遠州流域治水協議会>

- あらゆる関係者が協働して流域全体で行う「流域治水」を計画的に推進するため、協議会を設置し、協議及び情報共有を行っている
- 令和6年度に開催した協議会では、流域治水対策推進にあたっての課題や課題解決にむけた対応策等について共有・議論し、今後の取組方針について了承された

令和6年度 遠州流域治水協議会開催概要

日時：令和7年3月13日（木）13：30～15：00

会場：袋井新産業会館キラット(WEB併用) 詳しくはこちら



協議会の様子



協議会の様子（WEB）

議事概要：

- 情報収集の多元化、防災情報の普及啓発について
- 校庭貯留や水田貯留の取組について
- 河道掘削や雨水貯留施設の整備、森林保全・治山施設の整備について
- 遠州流域治水オフィシャルサポーター制度に基づく懇談会の開催結果
- 民間企業との連携について 等

参加機関：37機関（ ）：オブザーバー

自治体関係：浜松市、磐田市、掛川市、袋井市、湖西市、菊川市、森町、設楽町、東栄町

静岡県関係：（経営管理部西部地域局）、（交通基盤部河川砂防局）、西部農林事務所、中遠農林事務所、浜松土木事務所、袋井土木事務所、（経済産業部農地局）

愛知県関係：新城設楽建設事務所、新城設楽農林水産事務所、（農林基盤局林務部森林保全課、建設局河川課）

国関係：農林水産省林野庁天竜森林管理署、国土交通省浜松河川国道事務所、天竜川ダム再編工事事務所、気象庁静岡地方気象台、（農林水産省関東農政局）

関係団体：（電源開発株式会社水力発電部）、（遠州鉄道株式会社）、（天竜浜名湖鉄道株式会社）、（スズキ株式会社、株式会社静岡新聞社、アロン化成株式会社、朝日航洋株式会社、株式会社JX通信社）

遠州流域治水オフィシャルサポーター企業による展示ブースの様子



（株）JX通信社



スズキ（株）



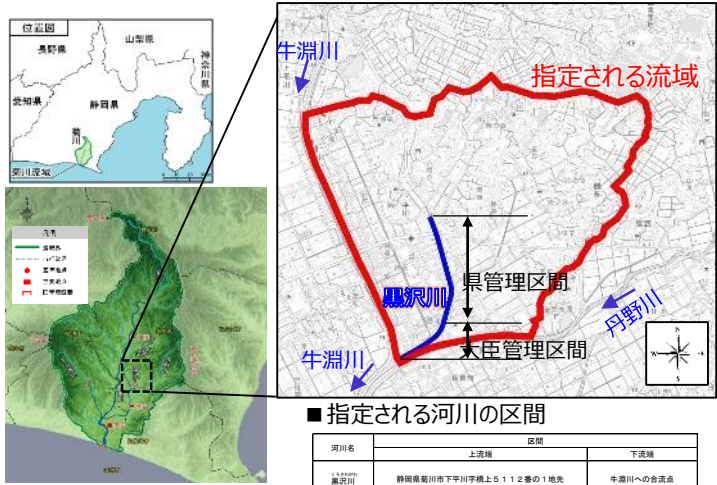
アロン化成（株）

流域治水の推進 < 菊川水系黒沢川を特定都市河川に指定 >

■ 流域治水の本格的な実践に向けて、流域治水関連法の中核をなす特定都市河川浸水被害対策法第3条第1項等に基づき、令和7年3月31日、菊川水系黒沢川を、特定都市河川に指定

■ 菊川水系黒沢川
河川延長：1.3km（大臣管理区間0.45km、県管理区間0.85km）
流域面積：3.3km²

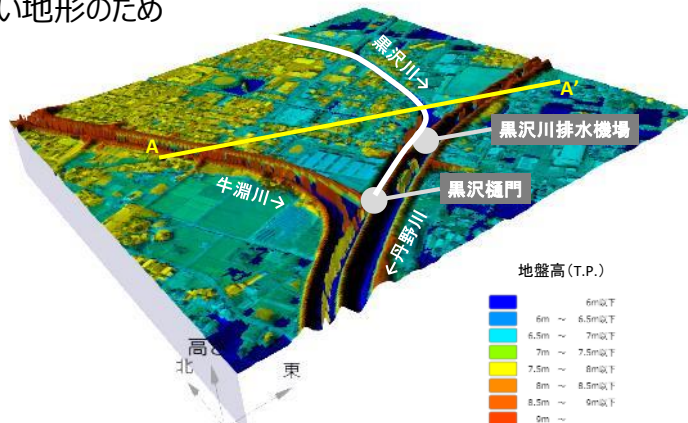
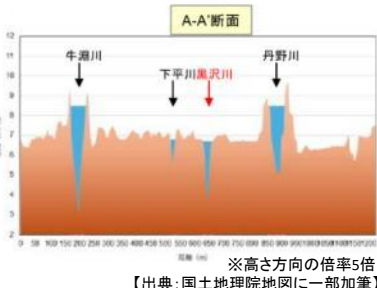
■ 指定される流域



■ 指定される河川の区間

黒沢川流域の特徴

黒沢川流域は菊川支川の牛淵川と丹野川の堤防に囲まれた地域であり、降った雨が流域内にとどまりやすい地形のため内水氾濫が発生しやすい



過去の浸水被害

年	流域平均雨量[mm/12hr]		確率規模 (国安基準)	浸水面積 (ha)	浸水範囲から推定した 黒沢川流域の浸水家屋数	
	黒沢川流域	国安上流域			床上浸水 (棟)	床下浸水 (棟)
S57.9	269	275	1/180	108	不明	不明
H10.9	170	224	1/29	35	不明	不明
H16.10	195	181	1/7	24	2	23
H25.4	149	167	1/5	17	1	8
H26.10	130	153	1/3	45	2	19
R1.10	293	274	1/180	21	22	59
R4.9	220	228	1/30	46	0	5



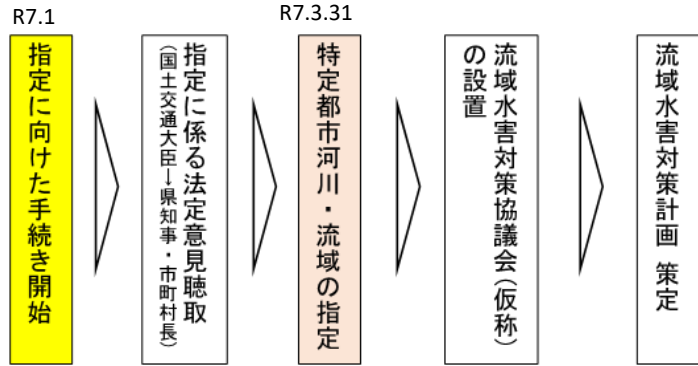
H26.10出水



浸水状況

R1.10出水

今後の予定



その他 <地域と連携した取り組み>

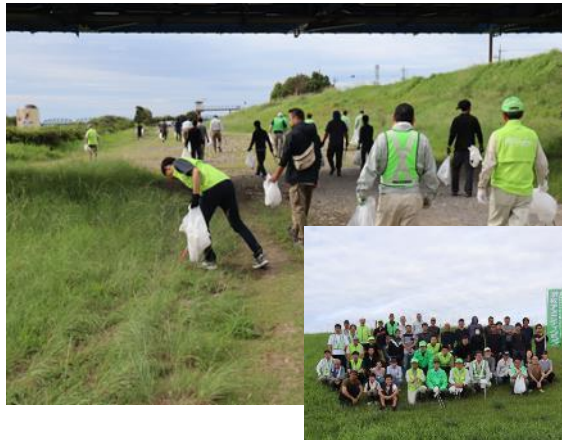
- 浜松河川国道事務所管内では、水辺の里まちづくりの会、浜松アメニティクラブの2団体を河川協力団体に指定し、天竜川で活動いただいている
- 天竜川沿川の市民の皆様と天竜川クリーン作戦として、河川清掃を行っている



NPO法人 水辺の里まちづくりの会による
環境教育(稚魚の放流)



天竜川クリーン作戦



NPO法人浜松アメニティクラブによる
天竜川清掃・美化活動
(令和6年度活動状況)



国土交通省 防災のお仕事 を開催

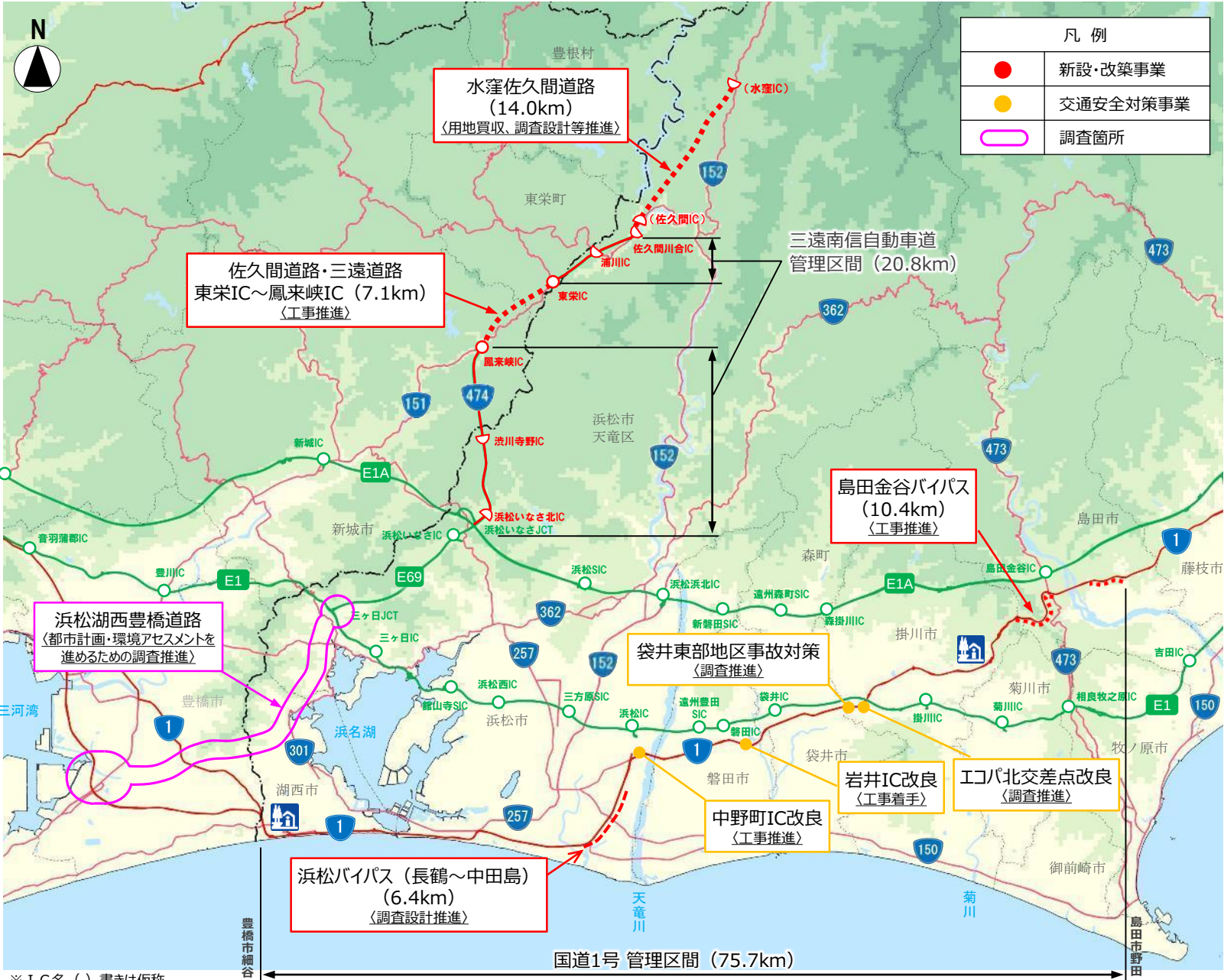


はままつ建設フェスタ2024に出展



約200名の方に
来ていただき
大盛況でした！

令和7年度浜松河川国道事務所の事業実施箇所(道路)



令和7年度実施箇所

●新設・改築事業

- 三遠南信自動車道
- ・水窪佐久間道路
- ・佐久間道路・三遠道路

国道1号

- ・島田金谷バイパス
- ・浜松バイパス (長鶴～中田島)

●道路調査

- ・浜松湖西豊橋道路

●交通安全対策

- ・エコパ北交差点改良
- ・袋井東部地区事故対策
- ・岩井IC改良
- ・中野町IC改良

●道路維持管理

- ・国道1号 75.7km
- ・三遠南信自動車道 20.8km

道路関連事業の概要

<新設・改築事業>

- 三遠南信地域の高速交通サービスの提供、地域交流支援および災害に屈しない強靱な国土づくりのために、三遠南信自動車道の整備を実施
- 国道1号の物流の効率化、交通渋滞の解消を図るとともに、災害に屈しない強靱な国土づくりのために、島田金谷バイパスの4車線化及び浜松バイパス（長鶴～中田島）の立体化・現道拡幅整備を実施

■ 令和7年度実施内容

<水窪佐久間道路>

- ・用地買収、地質調査、環境調査、水文調査、道路詳細設計、トンネル詳細設計を実施

<佐久間道路・三遠道路>

- ・東栄IC～鳳来峡ICの令和7年度開通に向け、調査設計、改良工、橋梁上部工、トンネル設備工、舗装工を実施

<国道1号島田金谷バイパス>

- ・大代IC～掛川市佐夜鹿にて調査設計、用地買収、改良工を実施

<国道1号浜松バイパス（長鶴～中田島）>

- ・地質調査、道路予備設計を実施

<道路維持管理>

- 国道1号及び三遠南信自動車道の道路管理（道路巡視、維持・修繕、道路規制・情報提供および許認可業務等）を実施

<道路調査>

- 国土幹線道路ネットワークの整備に向け道路調査を実施

■ 令和7年度実施内容

<浜松湖西豊橋道路>

- ・都市計画・環境アセスメントを進めるための調査を実施

<交通安全対策>

- 円滑な道路交通を確保し、交通事故の防止を目的とし、国道1号の交通安全対策及び生活道路安全対策支援を実施

■ 令和7年度実施内容

<エコパ北交差点> [掛川市内]

- ・交差点のコンパクト化及び上り線の右折車線の延伸に向け調査を推進

<袋井東部地区事故対策> [掛川市～袋井市]

- ・交差点のコンパクト化及び上り線の右折車線の延伸に向け調査を推進

<岩井IC改良> [磐田市内]

- ・IC交差点の左折直進車線を延伸する工事に着手

<中野町IC改良> [浜松市内]

- ・ランプの付加車線の延伸工事を推進

浜松河川国道事務所の予算(道路)

令和 7 年度道路関連予算

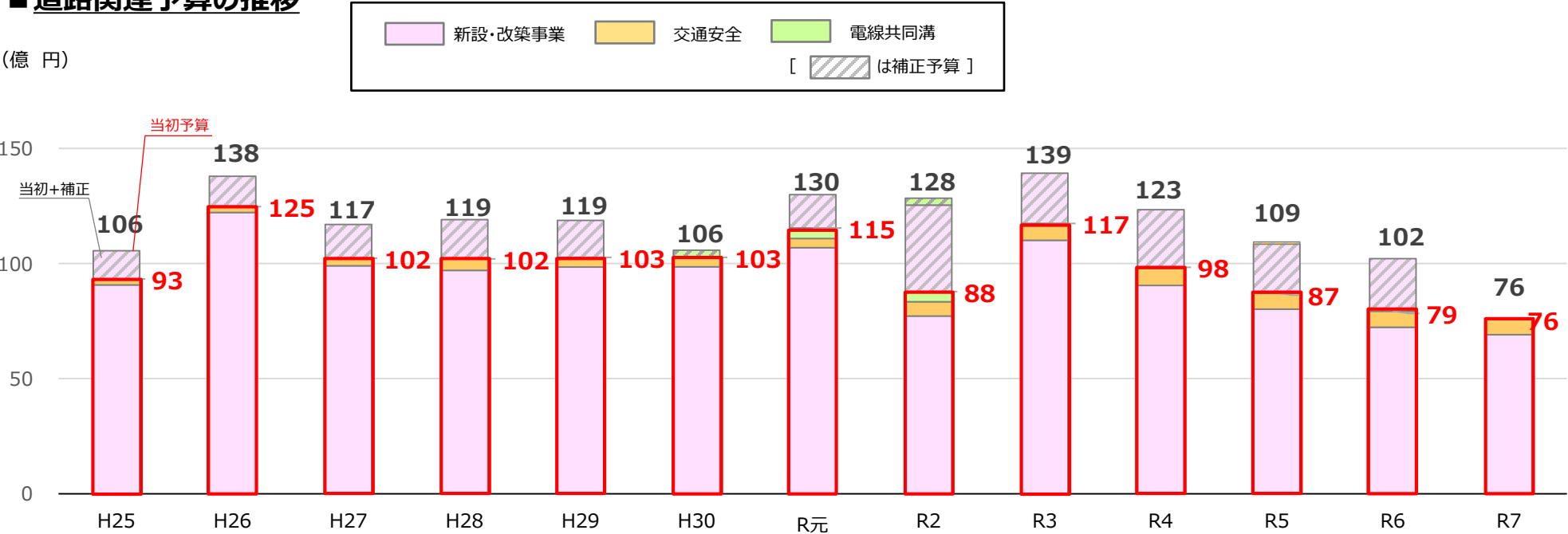
(単位：百万円)

事業内容	R6当初+補正	R6当初		R7当初	伸率 (R7当初/R6当初)
		R6当初	R6補正		
新設・改築事業	9,511	7,230	2,281	6,908	0.96
国道1号島田金谷バイパス	1,457	1,457	0	969	0.67
国道1号浜松バイパス(長鶴～中田島)	110	110	0	110	1.00
国道474号三遠道路・佐久間道路	7,149	5,118	2,031	5,029	0.98
国道474号水窪佐久間道路	795	545	250	800	1.47
道路管理事業	700	700	0	654	0.93
交通安全	700	700	0	654	0.93
事務所の道路関係予算	10,211	7,930	2,281	7,562	0.95

※この他に維持管理、調査、受託等の予算がある

道路関連予算の推移

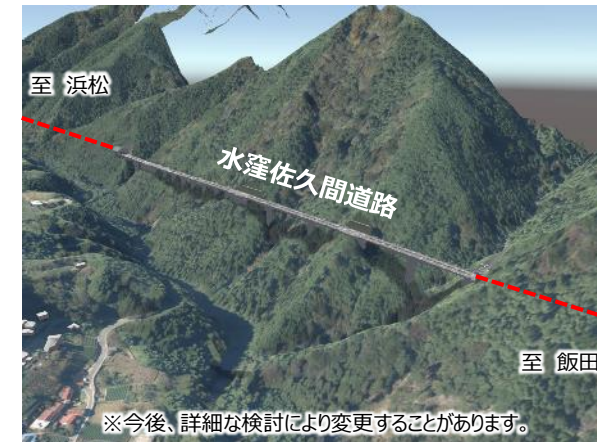
(億 円)



人流・物流を支えるネットワークの整備 <三遠南信自動車道の概要>

- 三遠南信自動車道は、長野県飯田市（中央道）と静岡県浜松市（新東名）を結ぶ延長約100km※の高規格道路であり、長野県、浜松市による道路改良（現道改良区間）も含め約6割（約59km）が開通済み。
- 浜松河川国道事務所では、水窪IC（仮称）～浜松いなさJCTの41.9kmの事業を担当しており、現在、水窪佐久間道路（14.0km）、三遠道路（東栄IC～鳳来峡IC（7.1km））の事業を実施。

※国道152号現道改良区間含む



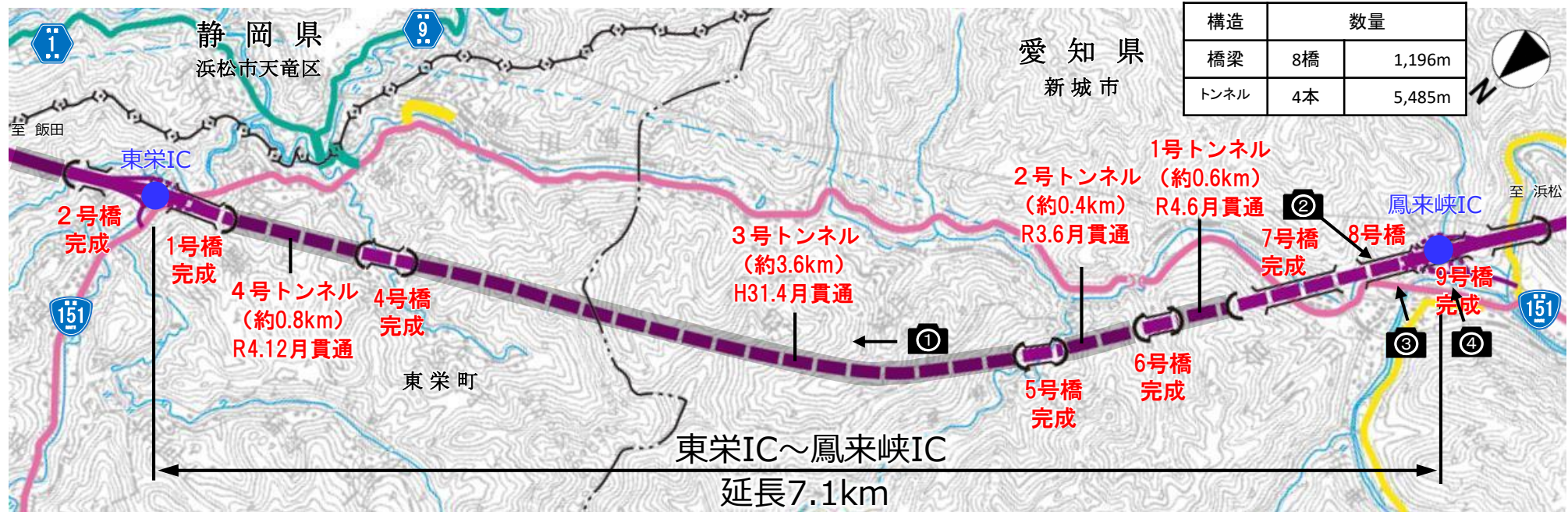
水窪佐久間道路整備イメージ図



①三遠道路の施工状況（8号橋）

人流・物流を支えるネットワークの整備 <東栄IC～鳳来峡ICの工事進捗状況>

- 東栄IC～鳳来峡ICの令和7年度開通に向け、改良工、橋梁上部工、トンネル設備工、舗装工等を推進。
- トンネルについては全トンネル（4箇所）が貫通済みであり、橋梁については全橋梁（8橋）の内7橋が完成。



※トンネル及び橋梁の名称は全て仮称



① 3号トンネル



②・③ 8号橋（上部工架設中）

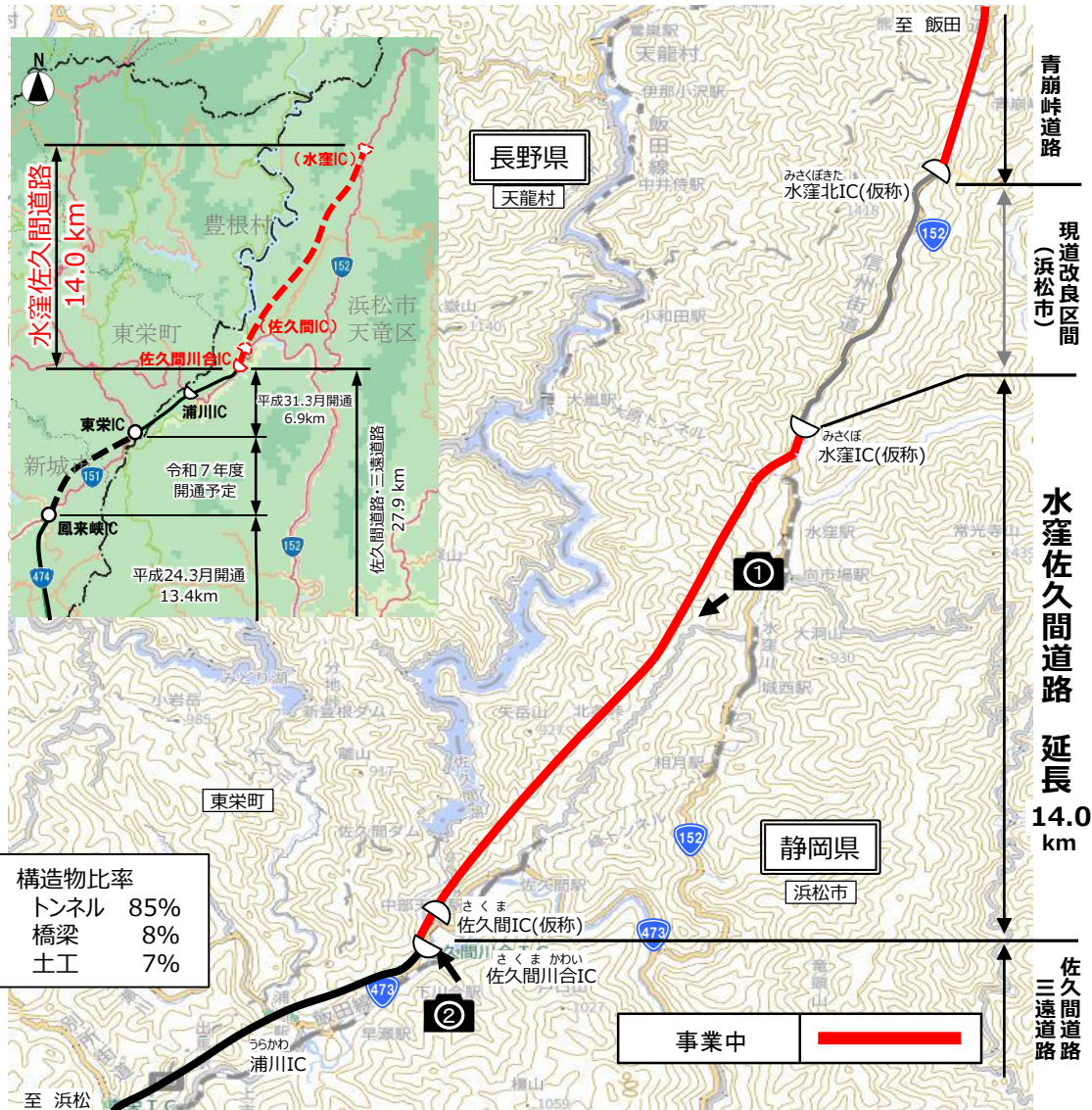


④ 9号橋



人流・物流を支えるネットワークの整備 <水窪佐久間道路の概要>

- 水窪佐久間道路は、平成31年度に事業化し、水窪ICと佐久間川合ICを結ぶ延長14.0kmの事業。
- 令和7年度は、測量、用地買収、地質調査、環境調査、水文調査、道路詳細設計、トンネル詳細設計を推進。



延長 : 14.0km
規格 : 第1種第3級

車線数 : 2車線
設計速度 : 80km/h



①完成イメージ図

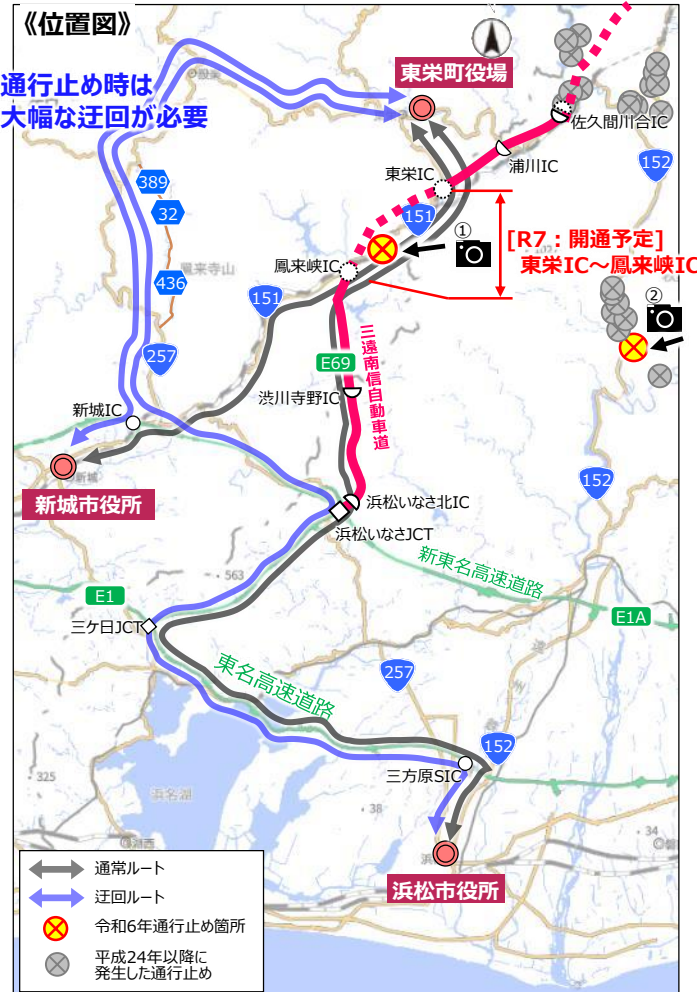


②天龍川渡河部

人流・物流を支えるネットワークの整備 <三遠南信自動車道の整備効果>

- 三遠南信地域は災害による通行止めが多く発生しており、災害に対し非常に脆弱であるとともに、救急医療の面でも第三次救急医療施設への搬送に1時間以上を要する状況である。
- 三遠南信自動車道の整備により災害に対して信頼性の高い道路ネットワークを確保し、更に地域の医療体制の充実や搬送時の患者への負担軽減等に寄与。

■ 通行止め規制・迂回ルート



【出典】国土交通省 国土地理院
ETC2.0プローブデータ（通常時）R5.5.29（月）昼間12時間平均
（迂回時）R5.6.5（月）昼間12時間平均

■ 近年の災害発生状況（令和5年6月）

① 国道151号（新城市）



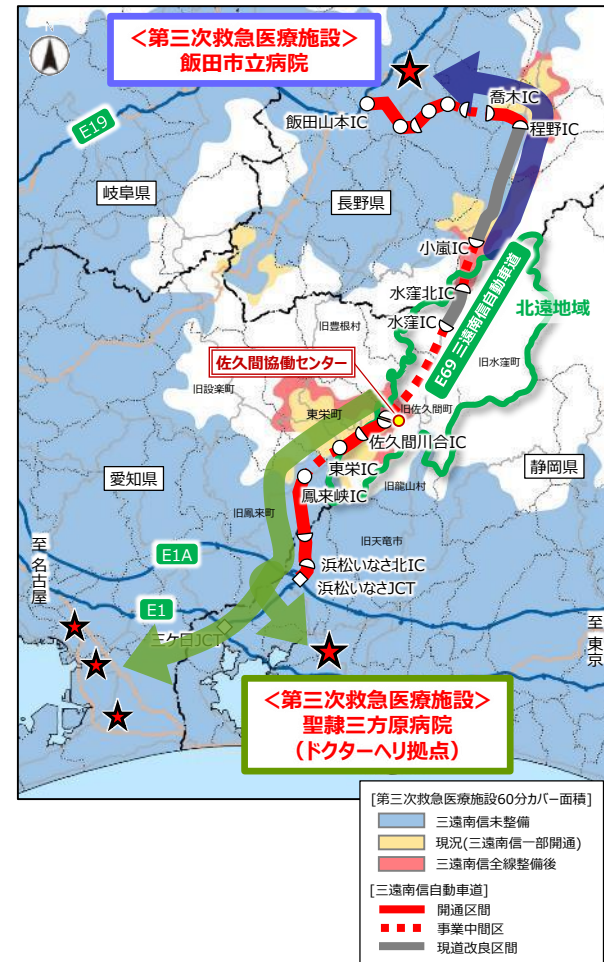
発生日時	令和5年6月2日[金]～6月12日[月]
発生場所	愛知県新城市川合字浅井平地内（鳳来峡IC周辺）
被災状況	台風2号による大雨の影響で土砂崩れが発生

② 国道152号（浜松市）



発生日時	令和5年6月2日[金]～8月31日[月]
発生場所	静岡県東天竜区龍山町大額地区（秋葉トンネル周辺）
被災状況	台風2号による大雨の影響で斜面崩壊が発生

■ 第三次救急医療施設60分カバー面積の拡大



三遠南信自動車道の整備により、第三次救急医療施設60分カバー面積が拡大

【走行性・安全性の向上】

<開通前>
狭隘な箇所を通過せざるを得ず、すれ違いが困難



<開通後>
走行性がよくなり、搬送時間短縮
患者への負担軽減



人流・物流を支えるネットワークの整備 <国道1号の概要>

- 管内の国道1号は、8つの区間のバイパス（BP）があり、うち3 BPが完成し、5 BPが暫定供用中。
- 各バイパスの交通状況（交通量、旅行速度等）も踏まえ、改築事業を計画的に推進中であり、現在、島田金谷BPと浜松BPで拡幅等事業を実施しており、袋井BP、磐田BP、浜松BPでIC改良を実施中。



	潮見BP	浜名BP	浜松BP		磐田BP	袋井BP	掛川BP	日坂 BP	島田金谷BP			
									菊川・島田市境 ～大代IC	大代IC ～旗指IC	旗指IC ～野田IC	
延長(km)	5.9	12.7	18.3		7.2	9.1	9.9	4.3	10.6			
交通量(台)	31,800	41,500	42,600		74,600	54,500	33,800	29,800	29,300			
ピーク時 旅行速度 (km/h)	54	57	26		45	51	43 ※1		32 ※1			
							37 ※2	57 ※2	35 ※2	26 ※2	24	
現在の状況	暫定 2車線	S53年完成 (4車線)	暫定4車線		H20年 完成 (6～8 車線)	H24年完成 (4車線)	H24年完成 (4～6車線)	暫定2車線		暫定 2車線	R7年完成 (4車線)	暫定 2車線
	付加車線 施工済み			事業中				オンランプ延伸施工済		事業中		事業中

交通量：R3全国道路・街路交通情勢調査

ピーク時旅行速度：ETC2.0データ R6.10 平日 ※各区間の時間帯別旅行速度のうち、最低旅行速度を記載

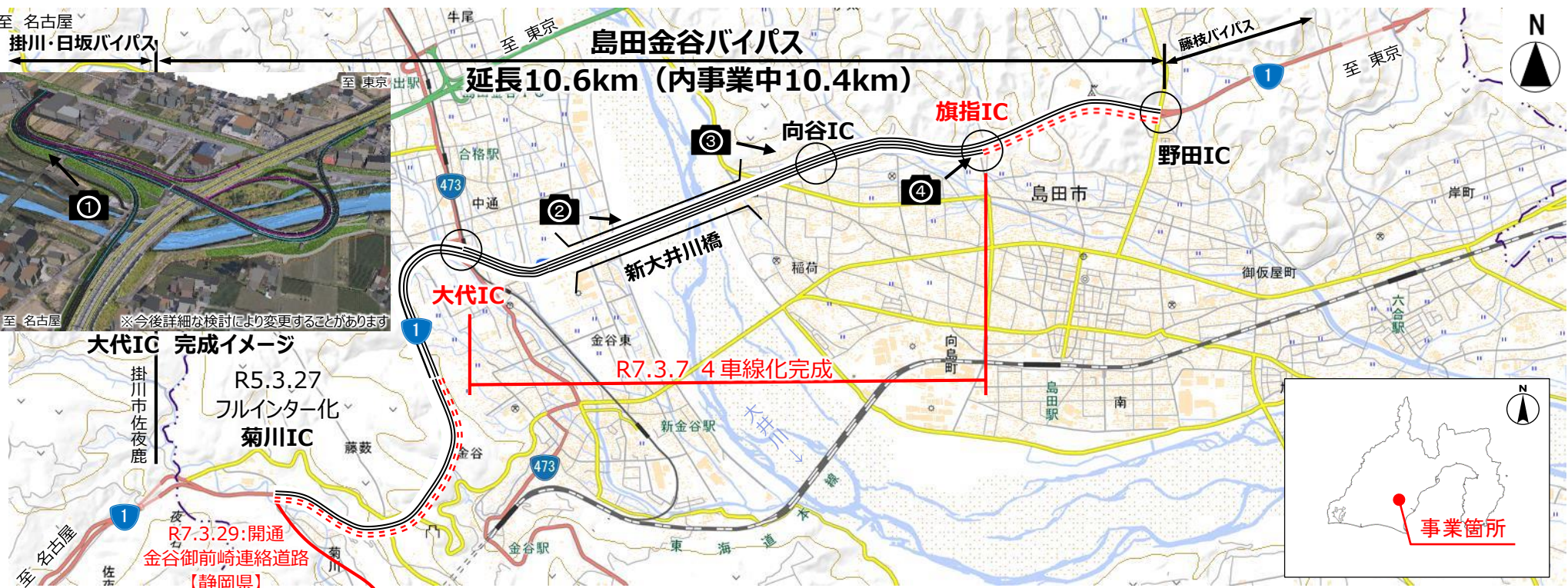
※1 対象区間全線のピーク時旅行速度を記載

※2 分割区間ごとにピーク時旅行速度を記載

24

人流・物流を支えるネットワークの整備 <国道1号島田金谷バイパスの進捗状況>

- 島田金谷バイパスは、野田IC～掛川市佐夜鹿の10.4kmについて、4車線化整備を行う事業として平成24年に事業化。
- 令和7年度は大代ICの調査設計、用地買収、改良工、橋梁上部工を推進。



①大代IC



②新大井川橋（右岸側）



③向谷IC

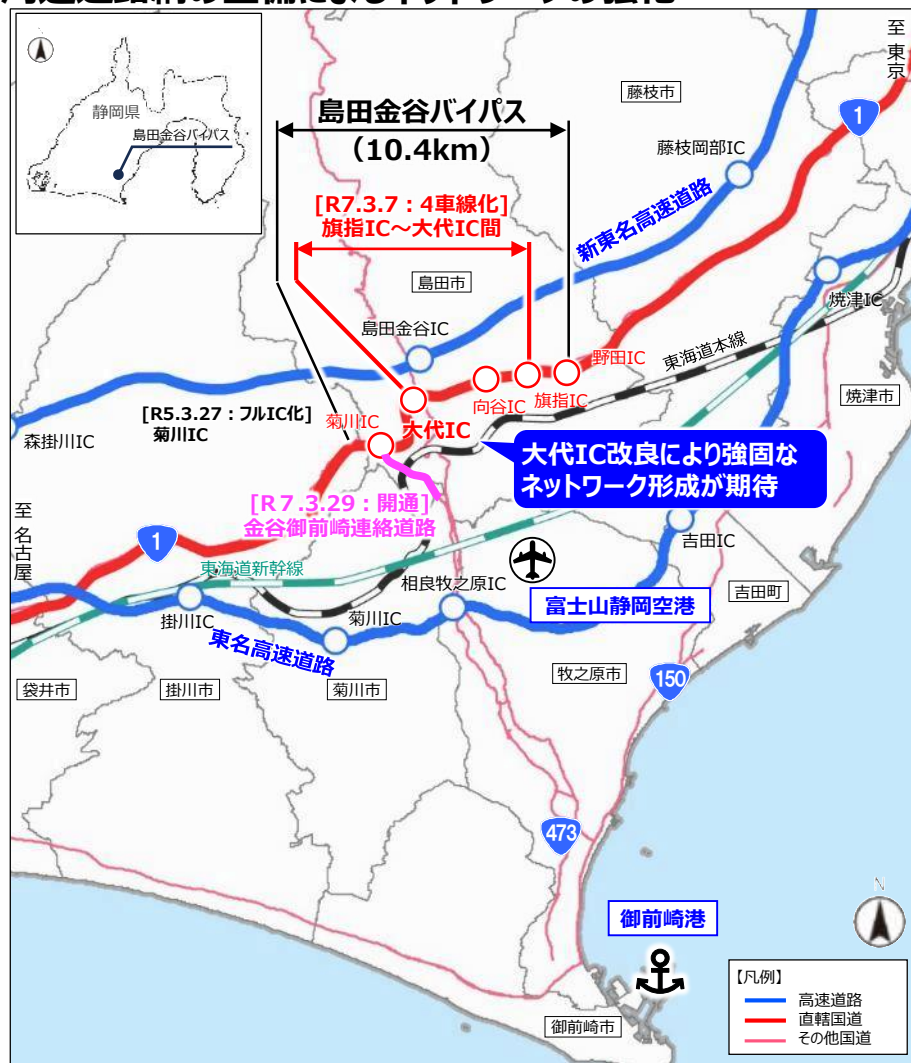


④旗指IC

人流・物流を支えるネットワークの整備 ＜国道1号島田金谷バイパスの整備効果＞

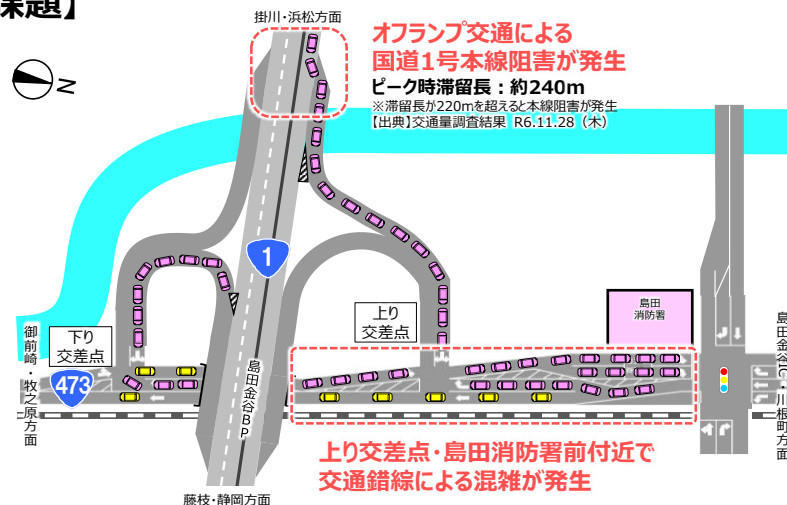
- 大代ICでは、オフランプ交通による国道1号本線阻害やIC交差点周辺（国道473号）で交通の錯綜による混雑が発生している。
- 島田金谷バイパス周辺では、旗指IC～大代I間がR7.3.7に4車線化など道路整備が進んでおり、今後交通需要増加が見込まれる。
- 大代ICの改良整備（交差点集約・滞留長延伸）により、本線阻害が解消およびIC周辺での混雑が緩和され、東西軸・南北軸の要所として、より強固なネットワークの形成が期待される。

■ 周辺道路網の整備によるネットワークの強化

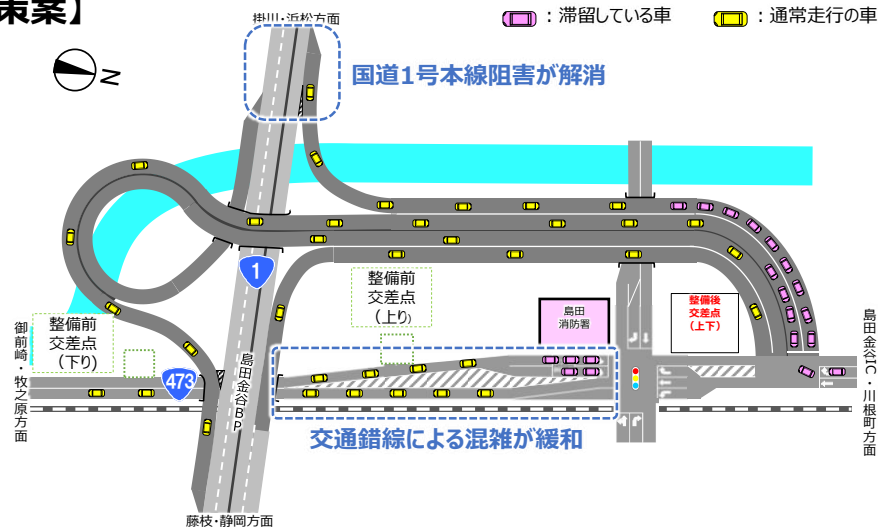


■大代ICの交通課題と対策案

【現況課題】

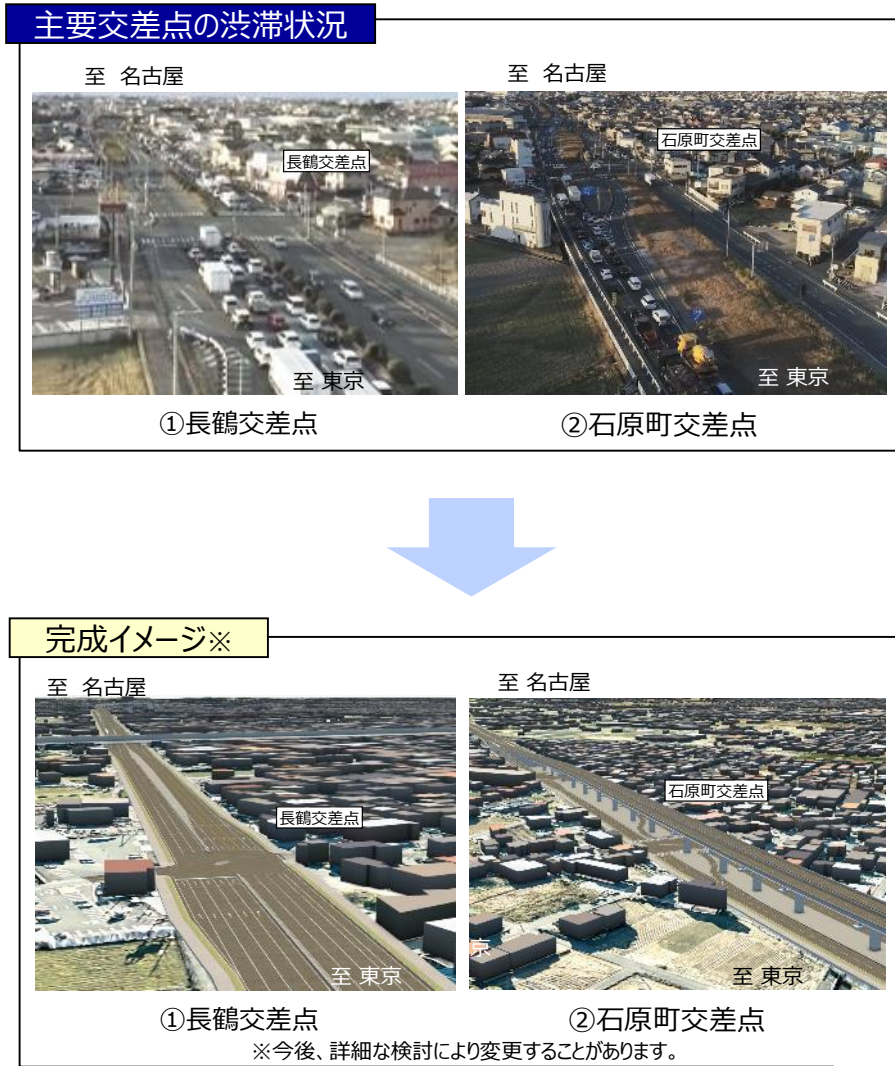


【对策案】



人流・物流を支えるネットワークの整備 <国道1号浜松バイパス(長鶴～中田島)>

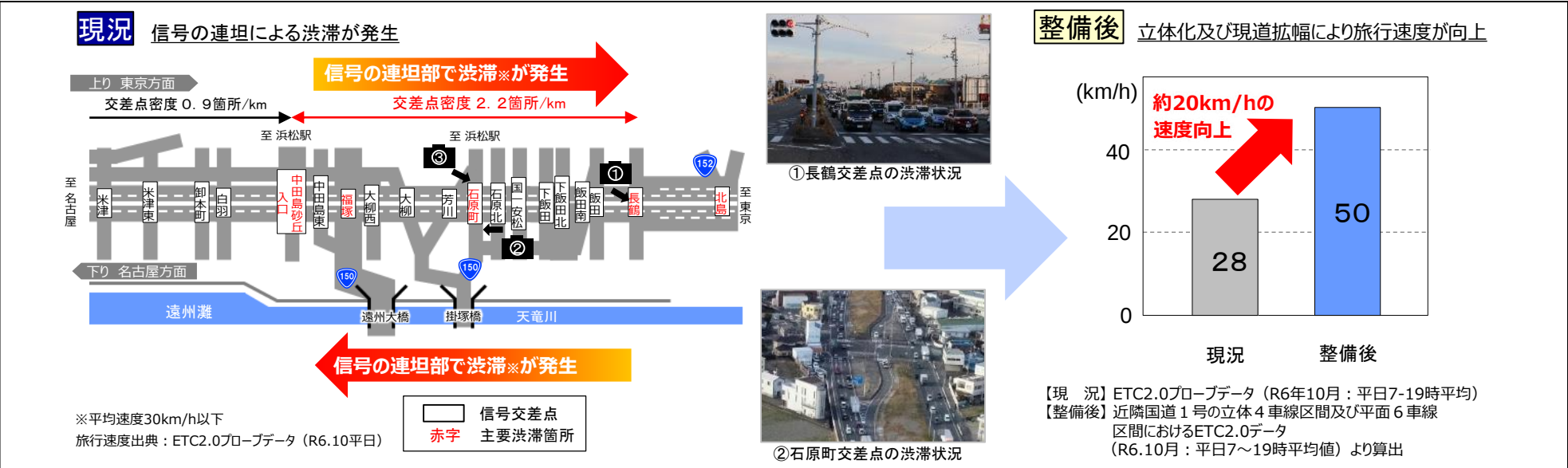
- 国道1号浜松バイパスは、令和4年度に新規事業化し、長鶴～中田島砂丘入口交差点の区間6.4kmについて、立体化及び現道拡幅を行う改良事業。
- 令和7年度は、地質調査、道路予備設計を推進。



人流・物流を支えるネットワークの整備 <国道1号浜松バイパス(長鶴～中田島)の整備効果>

- 浜松バイパスは信号が連坦し、交通容量を大幅に超過しているため、近隣のバイパスと比較しても速度低下が著しい。
- 立体化及び現道拡幅により、交通の適正化と旅行速度の向上が図られ、地域交通の円滑化と安全性の向上に寄与。
- 更に、浜松市南部の物流拠点から浜松 ICまでの所要時間が約 6 分短縮され、物流の速達性向上に寄与。

■ 地域交通の円滑化



国土幹線道路ネットワーク整備に向けた道路調査 <調査路線>

- 令和3年度に計画段階評価により対応方針（ルート帯）を決定。
- 令和6年7月 都市計画・環境影響調評価方法書公告・縦覧。（静岡県・浜松市）
- 令和7年度は、都市計画・環境アセスメントを進めるための調査を実施。

路線の必要性・効果の調査
地域ネットワークの課題の調査



優先区間の絞り込み調査



（計画段階評価を進めるための調査）
概略ルート・構造の検討



（都市計画・環境アセスメントの準備を行う調査）
詳細ルート・構造の検討



令和7年4月現在

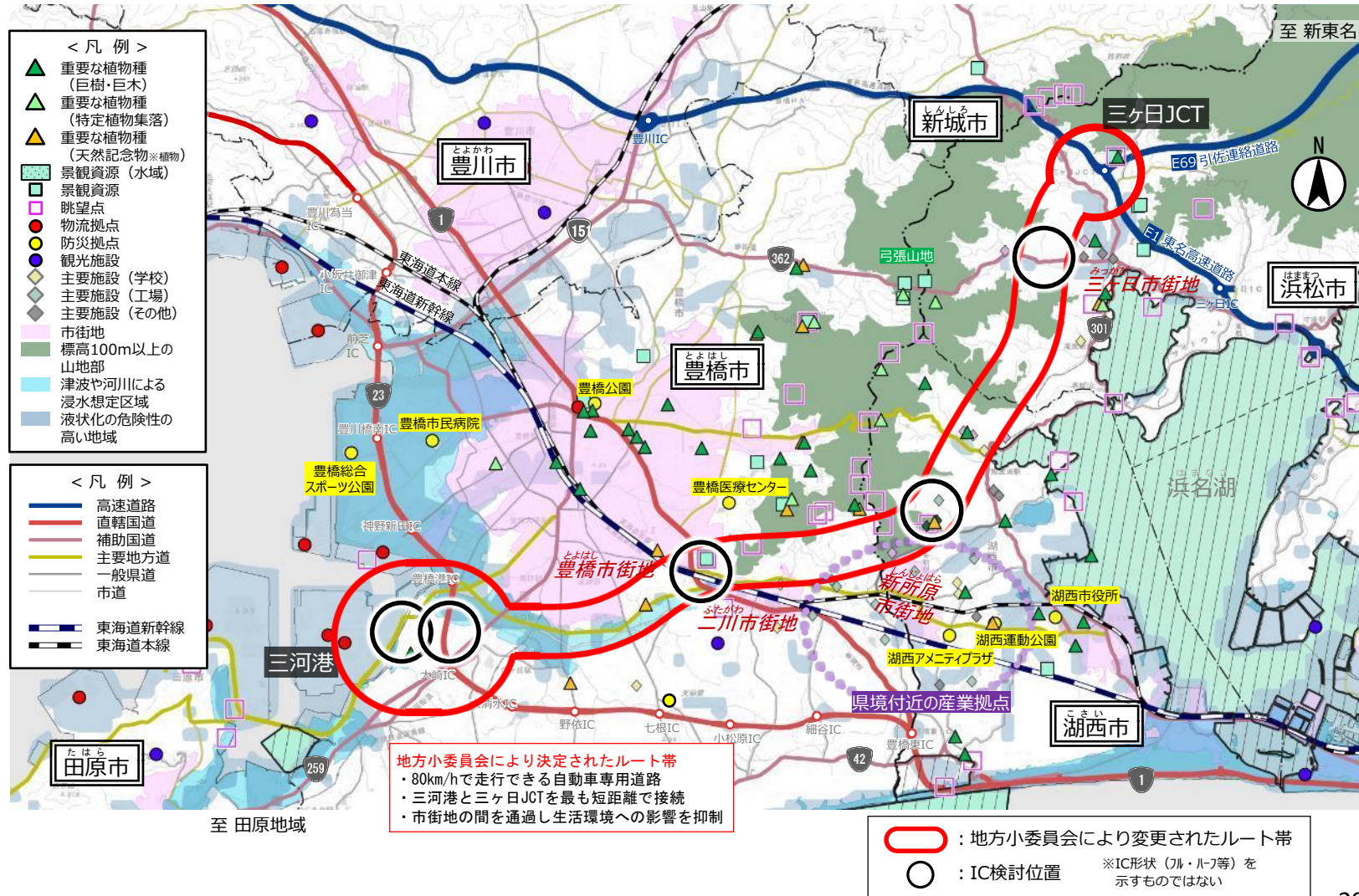
都市計画・環境アセスメントを
進めるための調査



新規事業採択時評価



新規事業化



交通の安全・安心の確保 〈国道1号及び国道474号の道路管理〉

- 日本の大動脈である国道1号の島田市野田から豊橋市東細谷町（静岡・愛知県境）までの延長75.7 km及び国道474号（三遠南信自動車道）の延長20.8kmの道路管理を実施。
- 道路利用者が安心して道路を利用できるように、事故等にて損傷した付属物や異状があった道路構造物等の補修、橋の耐震補強等を実施。

■ 道路管理



道路パトロール（落下物回収）の状況

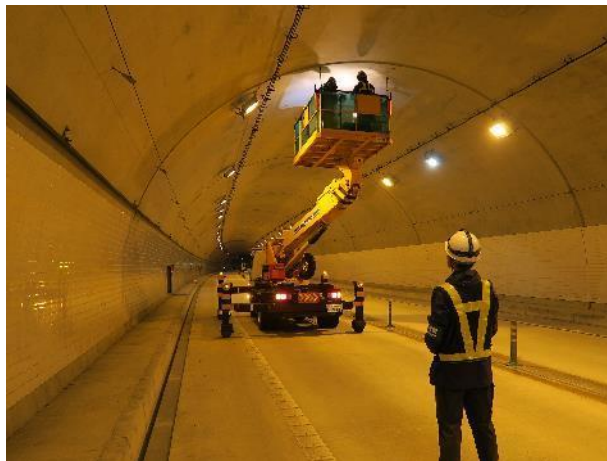


舗装の応急復旧の状況

■ 構造物の点検



橋梁点検の状況（浜名大橋）



トンネル点検の状況（三遠トンネル）

■ 構造物の補修、補強



橋梁耐震補強の状況（袋井高架橋）



橋梁耐震補強の状況（土橋高架橋）

交通の安全・安心の確保 <国道1号の交通安全対策>

- 交通事故を防止し、安全で円滑な交通を確保するため、国道1号にて交通安全対策を実施。
- 令和7年度、袋井東部地区事故対策事業（同心橋東交差点・国本交差点）を事業化。



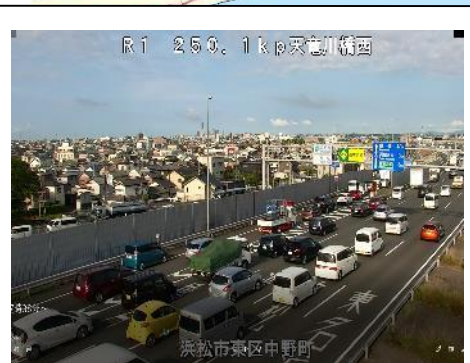
岩井IC改良（磐田市内）

- ・インターチェンジ交差点の付加車線を延伸することで、本線への滞留のはみ出しの抑制を図る。
- ・令和7年度は新たに工事着手。

エコパ北交差点改良

（掛川市内）

- ・交差点のコンパクト化及び上り線の右折車線の延伸に向け、調査を推進
- ・令和7年度は調査を実施。



中野町IC改良（浜松市内）

- ・インターチェンジ交差点の付加車線を延伸することで、本線への滞留のはみ出しの抑制を図る。
- ・令和7年度は工事を実施。

袋井東部地区事故対策事業（掛川市～袋井市）

【令和7年度事業化】

- ・交差点のコンパクト化を行うことで、交通事故の防止を図る。
- ・令和7年度は調査を実施。



写真①：同心橋東交差点 停止線付近



写真②：国本交差点 停止線付近

交通の安全・安心の確保 <道の駅>

○ 道路利用者が安心して立ち寄り、快適な休憩場所として利用できるよう、国道1号「道の駅」駐車場やトイレの管理を実施。

■「道の駅」潮見坂



<設備>



道路情報モニター



24時間使用可能な
ベビーコーナー

■「道の駅」掛川



<設備>



道路情報モニター



24時間使用可能な
ベビーコーナー

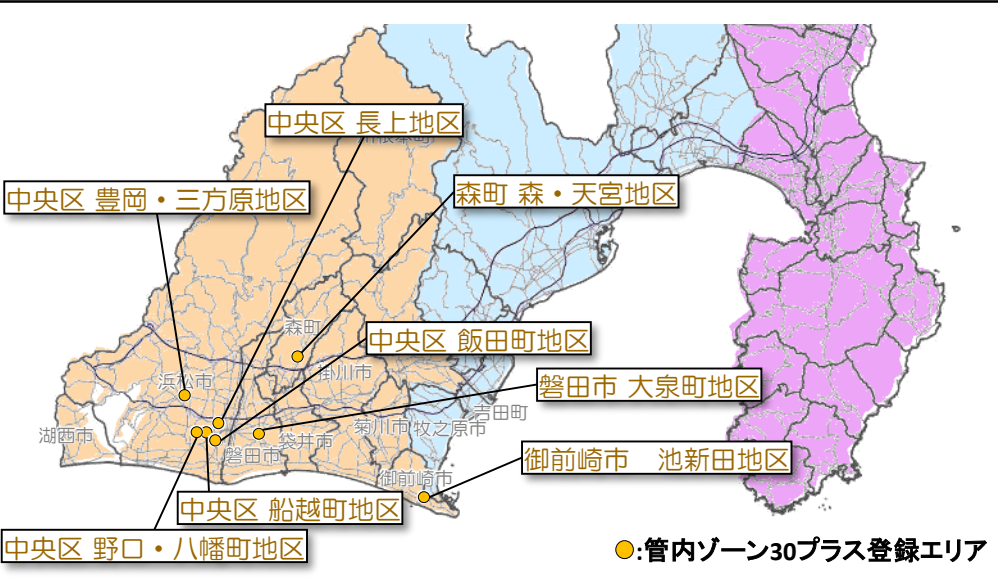


防災施設（貯水タンク）

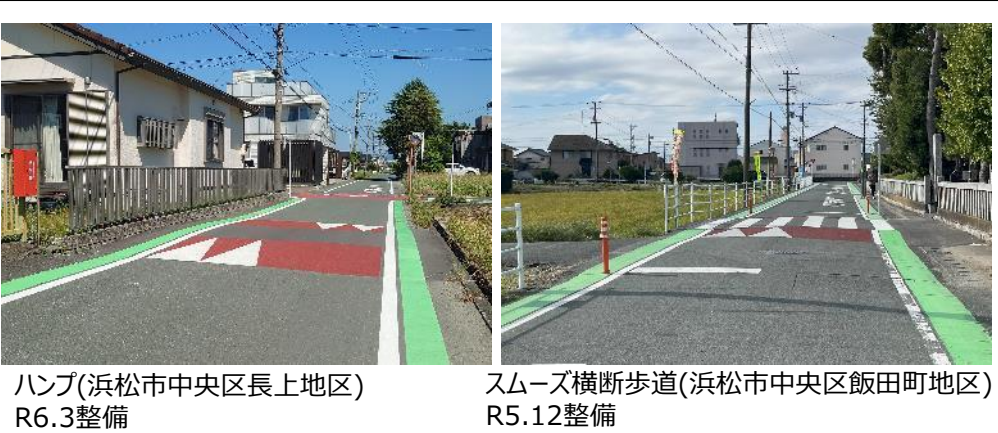
生活道路の交通安全対策(ゾーン30プラス登録)の支援

○ 生活道路の安全対策として自治体が策定する「ゾーン30プラス」について技術的支援（ETC2.0を活用したデータ分析等）を実施。

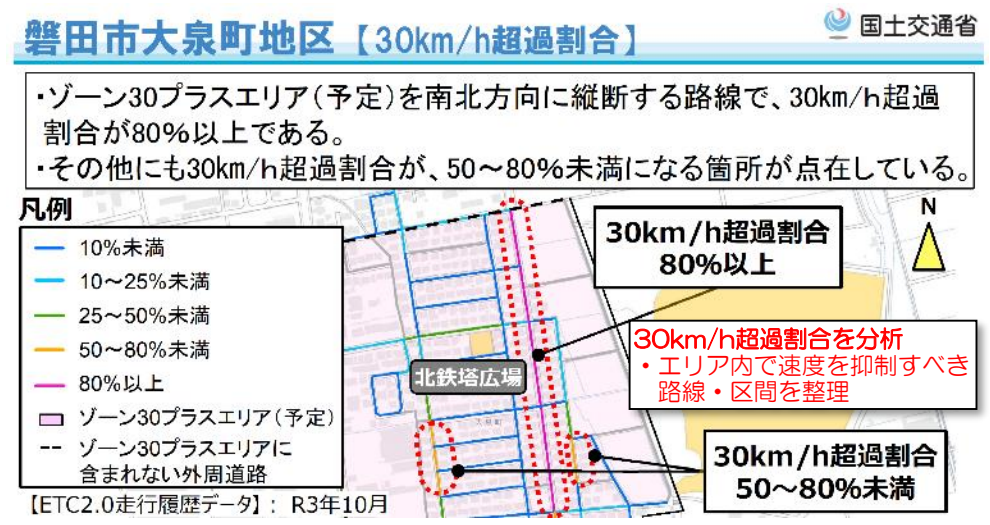
■管内ゾーン30プラス登録箇所



■管内物理的デバイス整備事例



■技術的支援実施事例（ETC2.0を活用したデータ分析）



災害時

被害の把握

TEC-FORCEリエゾンの活用



上空から状況把握



支援ニーズを把握



施設の被害状況調査



災害状況リアルタイム配信



進入・避難ルートの確保



浸水エリアの排水



応急復旧に関する助言



災害申請に向けた支援



特異な災害時

復旧方針を検討する際には

TEC-FORCE
高度技術指導班
(土研・国総研)の活用



高度な技術指導
被災状況調査



応急措置や
復旧方針樹立等の
指導

- 例えば…
- ▶ 土砂災害専門家による現地調査
 - ▶ 監視装置の設置や、搜索作業中止判断基準の提案等の技術的助言を実施
 - ▶ 土砂災害時の警戒区域の設定

応急復旧時

資機材の提供

資材				
	異形ブロック	砕石	大型土のう	ブルーシート
機材				
	照明車	バックホウ	排水ポンプ車	小型衛星画像伝送装置

資材：一部国負担(可能な場合有り)
機材：無償貸与(燃料、運転手等は対象外)
対策本部車、衛星通信車、排水ポンプ車、照明車、待機支援車、応急組立橋、バックホウ、小型衛星画像伝送装置

災害協定の活用

	建設業協会に派遣を要請・調整		他県の建設業協会に派遣を要請
--	----------------	--	----------------

- ▶ 地方整備局事務所等⇔市町村長等 ホットライン構築
- ▶ 必要に応じてリエゾンを派遣し様々な調整を実施

災害時

被害の把握

TEC-FORCEリエゾンの活用



上空から状況把握

ドローンを使った調査を行い、発災直後の状況を上空から迅速に把握。



施設の被害状況調査

被災自治体が管理する施設の被害状況を調査。



進入・避難ルートの確保

迅速な救助活動や復旧作業のための進入・避難ルートの確保を行う。



応急復旧に関する助言

早急な復旧に向け、公共建築物の応急復旧に関する助言を行う。



支援ニーズを把握

自治体の被害情報や支援ニーズを把握、様々な調整を行う。



災害状況リアルタイム配信

被災現場の状況をリアルタイムで配信し、情報を共有する。



中部地盤（静岡県熱海市伊豆山）



浸水エリアの排水

大雨、洪水により溜まった水を排除。



災害申請に向けた支援

円滑な災害申請に向けた支援を行う。



特異な災害時

復旧方針を検討する際には

TEC-FORCE
高度技術指導班
(土研・国総研)の活用



高度な技術指導
被災状況調査



応急措置や
復旧方針樹立等の指導



例えば…

- ▶ 土砂災害専門家による現地調査
- ▶ 監視装置の設置や、捜索作業中止判断基準の提案等の技術的助言を実施
- ▶ 土砂災害時の警戒区域の設定

令和7年 能登半島豪雨による 被災地へのTEC-FORCE活動

- 令和7年度能登半島豪雨による災害に対してTEC-FORCEを派遣。(浜松河川国道事務所からの派遣職員32人・日)
- 道路の早期復旧のため被災状況調査(道路調査、橋梁調査)を実施。

主な支援箇所位置図



調査概要

期間：9月25日～10月9日
活動：輪島市内の被災状況
(道路・橋梁) 調査
人数：職員総勢172人・日
(各班4人)



＜調査結果の説明状況＞



＜調査結果を輪島市長へ手交＞

橋梁調査

現地調査箇所数：61路線



豪雨による橋梁被災状況



地元住民への聞き取り



道路調査

現地調査箇所数：201箇所



豪雨による道路被災状況



ドローンによる危険箇所調査





浜松河川国道事務所

〒430-0811 浜松市中央区名塚町266

H P

<https://www.cbr.milt.go.jp/hamamatsu/>

E-mail

cbr-hamamatsu@milt.go.jp